ティーンアカウントと 青少年の安全について

公共政策本部 栗原さあや

Metaにおける青少年に対する多層的な取り組み

ティーンアカウントとは

保護者の見守りのもとで安全に Instagramを利用できるよう
10代の子どもたちのために開発された体験

- 13～17歳の子どもが対象
- 安全のための様々な機能や設定が自動的に適用
- 新たにアカウントを作成する場合だけでなく
既にInstagramを利用している場合も自動的に移行

日本では今年1月から導入開始

ティーンアカウント導入の背景

10代の子どもによるソーシャルメディアの利用について 世界中の保護者の懸念に応える機能

- コンタクト(誰と連絡を取っているのか)
- コンテンツ(どんなコンテンツを見ているのか)
- スクリーンタイム(利用時間)

13~15歳の子どもが設定を変更(緩和)するためには
ペアレンタルコントロールを使って保護者の承認が必要

代表的な機能・設定

非公開アカウント

- **自動的に非公開に設定**
- フォロワー以外の利用者は子どもの投稿を見たり交流することはできず、新しいフォロワーからのフォローリクエストは都度承認する必要がある

※ 13～15歳：既に持っているアカウントが公開設定であっても非公開に変更

※ 16～17歳：既にアカウントを持っている場合、ティーンアカウントに移行後も設定を維持できる。
新規アカウントを作成する場合はデフォルトで非公開

代表的な機能・設定

DM(ダイレクトメッセージ)の制限

- **子どもがフォローしているアカウント、もしくは 既につながっている相手からの DMしか受け取れない**

※ 既につながっている相手 = フォローはしていないが、グループチャットでやりとりをしているアカウントなど

代表的な機能・設定

コンテンツの表示

- 発見タブやリールなどで「不適切なコンテンツ」の 表示を減らすようデフォルトで設定
- 特定のキーワードや絵文字が含まれるコメントやDMのリクエストを表示しない「非表示ワード」も自動でON

※ 不適切なコンテンツ = コミュニティガイドラインには違反して いないが、不快に感じる人がいる可能性のあるコンテンツ

代表的な機能・設定

利用時間の管理

- 1日の利用時間が1時間を越えるとアプリを閉じるようリマインダーが届く
- 午後10時から午前7時はスリープモードを適用されて通知がミュートになり、DMにも自動返信が送られる

より深く子どもの体験に関わるには ペアレンタルコントロール

- 13~15歳の子どもが設定を変更(緩和)するにはペアレンタルコントロールを使って保護者の承認が必要
- 保護者もInstagramのアカウントが必要でアプリ上で子どものアカウントと紐付ける仕組み
- 双方の承認(同意)が無いと利用できない
- 子どもがフォローしているアカウントを確認したり、利用時間の制限をより細かく設定するなどの機能も利用できる

青少年の年齢を 理解するための 継続的かつ 多層的な アプローチの 設計

登録時に年齢を収集

年齢に関係なくアカウント登録時に生年月日の入力を必須とし、技術的な制限により、子どもが偽の情報を入力しづらくするプロセスを採用

コミュニティからの報告

FacebookとInstagram上の未成年と思われるアカウントを誰でも報告でき、これらの報告を審査する専用チャネルを用意

保護者への啓発

保護者向けポータルや各種啓発キャンペーンを通じて、最低使用可能年齢を保護者に周知

コンテンツの審査

13歳未満の子どもと思われるアカウントを削除するため、コンテンツ審査担当チームを訓練

機械学習による十代の可能性が高い利用者の検出

年齢に適した体験を提供できるよう、年齢予測モデルに投資し、十代である可能性が高い利用者を検知

矛盾するシグナルがある場合、複数の方法で年齢確認を行う

18歳以上向けの機能を利用できるよう、様々な子どもの年齢確認方法を模索

みんなはどうしてる？

我が家の

インスタ

ANZENルール

ティーンアカウントの認知向上に向けた発信

- Instagramのティーンアカウントの概要と、家庭での話し合いにあたり気を付ける点をまとめた資料を公開
- 関係団体の協力のもと、保護者や教育機関などに配布

PDF版は以下QRコードからダウンロードしていただけます

Instagramの ティーンアカウントについて知ろう

10代の子どものための保護機能を自動で適用

ティーンアカウントって、何？

保護者の見守りのもとで安全にInstagramを利用できるよう、10代の子どものために開発された体験。

- ・13歳～17歳の子どもが対象
 - ・安全のための様々な機能や設定が自動的に適用
 - ・新たにアカウントを作成する場合だけでなく、既にInstagramを利用している場合も自動的に移行
- ※後者は順次適用、数ヶ月以内にすべての対象者に適用される予定(2025年3月時点)

どんな機能や設定が適用されるの？

ティーンアカウントには、保護者の懸念に応える様々な機能や設定が組み込まれています。

非公開アカウント

自動的に非公開に設定されるため、フォロワー以外の人たちが子どもの投稿を見ることはできません。また、新しいフォロワーからのフォローリクエストは都度承認する必要があります。

- ※既に利用しているアカウントが公開設定の場合、自動的に非公開に変わるのは13～15歳のみです
- ※新しくアカウントを作成する場合は13～17歳のすべての子どものアカウントが非公開になります

ダイレクトメッセージ(DM)

子ども自身がフォローしているアカウント、もしくは既に繋がっている相手からのメッセージ(DM)しか受け取ることができません。

不適切なコンテンツ

発見タブやリールなどで目にする不適切なコンテンツ(人々が戦う様子や美容整形を勧める内容など)の種類が制限されます。

利用時間の管理

1日の利用時間が60分を超えるとアプリを閉じるように通知が届きます。また、午後10時から午前7時はスリープモードが適用されて通知がミュートになり、DMには自動返信メッセージが送信されます。

設定を変更するための方法

13歳～15歳の子どもが設定を変更(緩和)するためには、Instagramのペアレンタルコントロールを使って保護者の承認が必要です。ペアレンタルコントロールを利用すると、16歳～17歳の子どもでも設定を変更する際に保護者の承認が必要な仕組みに変更できます。また、子どもがフォローしているアカウントを確認したり、1日の利用時間を制限するなどの機能も利用可能です。

一緒に我が家のインスタANZENルールを決めてみよう

InstagramやSNSを安全に利用するためには、ティーンアカウントやペアレンタルコントロールツールなどを活用することに加えて、お子さんと話し合うことが大切です。安全のためのルールには子どもや家庭の数だけ正解があります。以下のヒントを参考にしてお子さんと話し合い、自分たち合うANZENルールを決めてみましょう。

- 💡 お互いの話をよく聞いて、一方的な会話にならないようにしましょう。
- 💡 話し合いの内容や、利用についてのルールには正解も不正解もありません。自分たちにとって効果的な方法を探しましょう。
- 💡 子どものプライバシーを尊重することも忘れないようにしましょう。

ティーンアカウントについて詳しく知りたい場合はQRコードをスキャン

Meta

デジタルリテラシー教育プログラム「みんなのデジタル教室」の展開

- 2020年より、デジタル社会に必要な「デジタルアイデンティティ」の考え方や、「フェイクニュースの見分け方」、「デジタルシチズンシップと情報発信」について、それぞれ50分間の授業を提供
- NPO法人企業教育研究会と共同で日本に合わせたコンテンツを制作し、オンライン・オフラインで授業を実施
- 中学生・高校生を対象としており、これまでのべ4万人以上が受講
- 約85%の生徒が授業を受けて、インターネットやアプリ、SNSの利用の仕方について考えが変わったと回答

「みんなのデジタル教室」授業内容

> 「デジタル・アイデンティティを考える」

SNSなどオンライン上で公開されている個人情報について考えます。一般的にイメージされる「個人情報」だけでなく、普段あまり意識しない「履歴」や情報の「シェア」が蓄積することも、その人の「デジタルアイデンティティ」を構成していることがわかります。安全に、安心して楽しくネットのアプリやSNSを利用するための対策やコツを、クリエイターへのインタビューやアクティビティを通じて学びます。

> 「偽ニュースの見分け方」

誰かを騙したり、冗談のつもりで投稿されたりした情報は、あっという間に拡散され、多くの人に影響を与えています。こういった「偽ニュース」が発信される動機や、情報を受け取る側の視点を考えます。「偽ニュースを見分けるための様々なポイントについて、アクティビティを通じて学びます。また、拡散しないためのコツを学びます。

> 「デジタルシチズンシップと情報発信」

近年、デジタルシチズンシップという考え方が注目されています。より良い社会を作るために、責任と思いやりを持ってデジタル技術を活用するためのスキルと姿勢を指す言葉です。テクノロジーを使って社会に積極的に関わることは、これからの社会の一員として求められる能力です。疑似体験のワークを通して、安全かつ効果的なSNSでの情報発信のしかたを考えます。

Take It Down.

ヌード画像がオンラインに流出してしまうのは怖いことですが、これを削除できる可能性があります。

このサービスは、あなたが18歳未満のときに撮影されたヌード、部分的なヌード、または性的に露骨な写真や動画をオンラインから削除するための一つのステップです。

開始する +

takeitdown.ncmec.org/ja

Take It Down

開始する リソースとサポート Take It Downについて 加盟企業 よくある質問 日本語 (日本語)

Take It Down.
ヌード画像がオンラインに流出してしまうのは怖いことですが、これを削除できる可能性があります。

このサービスは、あなたが18歳未満のときに撮影されたヌード、部分的なヌード、または性的に露骨な写真や動画をオンラインから削除するための一つのステップです。

開始する +

- Take It Downは、18歳未満の子どもの性的な画像が、本人の同意なしに公開のオンラインプラットフォーム上で拡散されることを心配している人のためのグローバルプラットフォームです。
- Take It Downは、18歳未満の子どもの裸、部分的に裸、または性的に露骨な画像や動画に、ハッシュ値と呼ばれるデジタル指紋を割り当てることで機能します。
- Take It Downでの申請によって、画像や動画が本人のデバイスから外に出ることはありません。ハッシュ値のみがTake It Downにアップロードされ、NCMECに提供されます。
- 加盟企業のプラットフォームで一致する画像が投稿された場合、各企業はプラットフォーム上のコンテンツを審査し、ポリシー違反の有無を確認し、適切な措置を講じます。

takeitdown.ncmec.org/ja

加盟しているオンラインプラットフォーム

Take It Downのハッシュリストを使用して、自社の公開の暗号化されていないプラットフォーム上の画像や動画をスキャンすることに同意している企業は以下のとおりです。

CLIPS SALE

OnlyFans

Porn hub

yubo

Snap Inc.

@ Threads

REDGIFS

+ 6 other companies

この他、6つの企業が加盟

始めましょう

1

2

3

次のことに答えてください。

• 送信したい画像/動画に映るあなたの年齢は何歳ですか?

18歳以下

• 画像やビデオには、ヌード、部分的にヌード、または性的に露骨なコンテンツが含まれていることを確認してください。

はい

いいえ

わからない

• あなたの親密な画像やビデオがすでにオンラインで共有されていますか?

はい

いいえ

わからない

次 →

始めましょう

2

3

下の「写真/ビデオを選択」をクリックし、ハッシュ値を作成するデバイス上の写真またはビデオを特定します。デバイスからは何も残らず、代わりにハッシュが作成され、NCMEC ハッシュ リストに追加されることに注意してください。「次へ」をクリックする前に、ファイルのリストが正確であることを確認してください。また、写真やビデオのファイル名には、名前や個人を特定できる情報が含まれていないことを確認してください。

仕組み

画像/動画を選択

対応しているファイル形式

一度にスキャンする写真またはビデオを最大 10 まで選択できます。

画像や動画はデバイスから 外に出さないでください

← 一つ前の手順

次 →

リソースとサポート

必要とするサポートは人によって異なります。NCMECからサポートを受ける方法はたくさんあります。

各オンラインプラットフォームに直接報告する方法など、オンラインの特定の場所にあるコンテンツを削除するための追加サポートが必要な場合は、

こちらのリンク [MissingKids.org – Is Your Explicit Content Out There?](#) をご覧ください。NCMECが提供できるその他のサポートや、各オンラインプラットフォームにあなたのヌード、部分的なヌード、または性的に露骨な画像や動画をフラグして削除するよう直接連絡する場合のステップバイステップの手順が書いてあります。場合によっては、これが対象の画像や動画を削除する最短のルートとなることもあり、そのプラットフォームに有益な追加情報についてNCMECに報告するよう促すこともできます

露骨なコンテンツが流出した場合

デバイス上でのヌード保護

プライバシーを保護しながら潜在的に不適切な画像をぼかす機能の導入

- 性的な画像の作成と共有を削減
- 画像受信時の不要な表示を防ぎ、サポートを提供
- 性的な画像の再共有に対する啓発と障壁を導入
- 再接触を防ぐための関連機能を紹介

18歳未満のティーンに対してはグローバルでデフォルトで有効化され、大人には有効化を促す通知が表示されます。